



TEAM APEV with MONSTER SPORT 世界初の 1.1MW(メガワット)レースカーで 2015 パイクスピーク・ヒルクライムに挑戦

地球環境の保全と持続可能な社会の実現のため、電気自動車の普及促進を目指す電気自動車普及協会(APEV、名誉会長:福武 総一郎、会長:横川 浩)は、「パイクスピークEVチャレンジ実行委員会」を組織し2015年6月22~28日、アメリカ・コロラド州で開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに「TEAM APEV with MONSTER SPORT」として4年目の挑戦を行います。

1916年から始まり、まもなく100周年を迎えるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム。アメリカ・コロラド州、ロッキー山脈に広がるナショナルフォレストの雄大な大自然を舞台に行われるシンボリックなイベントにおいて、当プロジェクトでは、2012年の初参戦以来、地球環境の保全と電気自動車の普及を訴えてきました。

本年から始まる第2フェイズでは、2012~2014年の第1フェイズの実績を基に、電気自動車による初めての総合優勝を達成することを目標に掲げ、電気自動車の可能性を極限まで追求した車両を投入し新たな挑戦に乗り出します。

本年のレース車両「2015 Tajima Rimac E-Runner Concept_One」は、新しいシャシー、新しいパワートレインを持つ新型車です。車両製作においては、タジマモーターコーポレーション、SIM-Drive、RIMAC AUTOMOBILI(クアアチア)が参加。電気自動車開発において優れた技術を持つ3社のコラボレーションによって、世界初の1.1MW(メガワット)の高出力を発揮するレース用電気自動車が誕生しました。また、タイヤサプライヤーは引き続き Giti Tire(シンガポール)が努め、1.1MWもの最高出力に合わせて開発された専用タイヤが供給されます。

ドライバーは、パイクスピーク・レジェンドであり、電気自動車普及協会代表理事を務める田嶋伸博。チーム運営は、モンスタースポーツが担当します。

本年もまた、レースへの挑戦と共に、地球環境の保全と電気自動車の普及に関わる様々な活動を行って参ります。ぜひ当プロジェクトの活動にご支援・ご協力をお願いいたします。



【レース車両】



2015 Tajima Rimac E-Runner Concept_One

メーカー	タジマモーターコーポレーション
フレーム	アルミニウム スペースフレーム
ボディパネル	カーボンファイバーコンポジット
モーター	Rimac 4 モーター
バッテリー	Rimac オートモビルバッテリーパック 57kWh
最大出力/最大トルク	1100 kW / 1500Nm
駆動方式	4WD / Rimac チェンドライブ シングルリダクション トランスミッション
駆動制御	Rimac トルクベクトル制御
ドライブシャフト	NTN 等速ジョイント
サスペンション	フロント/リヤ: ダブルウイッシュボーン
ブレーキディスク	フロント/リヤ: φ370mm ベンチレーテッド + Rimac 回生ブレーキシステム
ブレーキキャリパー/パッド	フロント/リヤ: 8 pot キャリパー / winmax ブレーキパッド
タイヤ&ホイール	フロント/リヤ: 340/710-18 Giti Tire、18x13J マグホイール
全長 x 全幅 x 全高	L5500 x W1950 x H1300 mm *前後ウイング含む
ホイールベース	2700mm
車両重量	1500kg *ドライバー除く
性能	0-100km/h: 2.2 秒 / 最高速 270km/h



【ドライバー】



田嶋 伸博

(たじま のぶひろ)

1950年6月28日生

石川県出身／東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション

代表取締役会長

株式会社アイアールディー 代表取締役会長

株式会社 SIM-Drive 代表取締役社長

電気自動車普及協会(APEV) 代表理事

磐田新産業創出協議会 理事

袋井市産学官連携推進協議会委員

JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事

JAF 公認 チームモンスター 会長

田嶋 伸博 ヒルクライム戦績

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム
(アメリカ コロラド州)

- 1988年 ショールームストック Div. クラス 3位---
- 1989年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1990年 オープンラリー Div. DNS ---
- 1991年 PP オープン Div. 3位 12分34秒51
- 1992年 アンリミテッド Div. クラス優勝 12分51秒63
- 1993年 アンリミテッド Div. クラス優勝/総合2位 10分44秒22
- 1994年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合5位 10分51秒15
- 1995年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分53秒00
※天候不順のためコース短縮
日本人初優勝
- 1996年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合2位 10分21秒88
- 1997年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1998年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合2位 10分32秒57
- 1999年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合2位 10分37秒35
- 2000年 PP オープン Div. DNF ---
- 2001年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 2006年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分38秒
※天候不順のためコース短縮
- 2007年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分01秒408
世界新記録樹立
- 2008年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分18秒250
- 2009年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分15秒368
- 2010年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分11秒490
- 2011年 アンリミテッド Div. 総合優勝 9分51秒278
世界新記録樹立
- 2012年 エレクトリック Div. 予選:クラス1位 / 決勝:リタイヤ
- 2013年 エレクトリック Div. クラス優勝/総合5位 9分46秒530
クラスレコード更新
- 2014年 エレクトリック Div. クラス3位/総合4位 9分43秒900
モディファイド Div.



【パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会】

【実行委員会構成団体】

電気自動車普及協会

株式会社タジマモーターコーポレーション

【実行委員長】

総監督: 福武 総一郎 (電気自動車普及協会 名誉会長)

～株式会社ベネッセホールディングス 最高顧問 ～

【実行委員】

応援団長: 鈴木 泰信 (NTN 株式会社 相談役)

ドライバー: 田嶋 伸博 (電気自動車普及協会 代表理事)

～株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長～

～株式会社 SIM-Drive 代表取締役社長～

草加 浩平 (電気自動車普及協会 理事)

～東京大学大学院 工学系研究科 特任教授～

藤原 洋 (電気自動車普及協会 理事)

～株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO～

鈴木 高宏 (電気自動車普及協会 理事)

～東北大学 未来科学技術共同研究センター(NICHe) 教授～

【事務局】

事務局長 石倉智之 (株式会社タジマモーターコーポレーション)

田中郁子 (電気自動車普及協会)



【出場競技】

大会名：第93回パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

開催地：アメリカ・コロラド州・コロラドスプリングス

開催日：開催日：2015年6月22日～28日

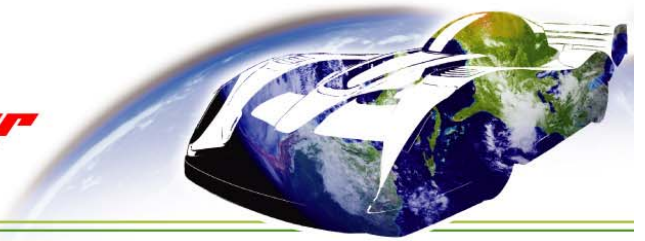
レーススケジュール

6月22日(月)	参加者受付/車検
6月23日(火)	公式練習
6月24日(水)	練習/予選 1日目
6月25日(木)	練習/予選 2日目
6月26日(金)	練習/予選 3日目/ファンフェスト
6月27日(土)	セットアップ日
6月28日(日)	決勝

出場クラス：エレクトリック モディファイド ディビジョン(電気自動車 改造クラス)

出場車両：Tajima Rimac E-Runner Concept_One (2015年式)

ドライバー：田嶋 伸博



【出場競技概要】

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムとは何か
なぜこの競技に参戦するのか

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムは、アメリカ・コロラド州、ロッキー山脈の一部を成すパイク・ナショナルフォレスト(国有林)の雄大な自然の中で行われる自動車競技です。非常にシンボリックなイベントとして、世界でも有数のモータースポーツイベントとして多くの注目を集める、その理由は、長年に渡る歴史とレースが行われるロケーションにあります。

初開催は1916年(大正5年)、以後、戦争による中断などはありませんながらも継続的にアメリカの独立記念日に開催(※7月4日、近年は前週の6月末開催)され、2014年が92回目を数えます。単一シリーズとしてはインディ500等に次いで世界で五指に入る歴史と伝統を誇ります。

スタート地点は標高2862メートル、ここから富士山よりもはるかに高い4301メートルの山頂まで続く約20キロ山岳道路を一気に駆け抜けタイムを競います。

スタート地点の周囲は森に囲まれ多くの野生動物の姿を見ることができます。そこから7~8kmは森林地帯の中で緩やかに標高を上げて行きます。やがて道路は、急峻な山肌に張り付いたつづら折れの道になり、森林限界を超えて行くことで背の高い草木は姿を消し、高山に対応した植物だけが地面を覆うようになっていきます。そして、ゴール地点が近づく4000mを越える地点では赤茶けた岩だけが存在する世界へと変わって行きます、それは、自然破壊が進んだ世界を見せている様でもあり、わずか20kmのコースに凝縮された環境の変化は見る物に何かを訴えかけているようです。

このような、世界で唯一と言える歴史的背景と特異なロケーションがパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに挑戦すること、そして勝利を求めることの価値を高めているのです。





【TEAM APEV レース結果】

[2012 年] 第 90 回 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

[レース車両] MONSTER SPORT E-RUNNER パイクスピークスPECIAL
[ドライバー] 田嶋 伸博
[出場クラス] エレクトリック
[結果] 予選:クラス 1 位 決勝:リタイヤ

[2013 年] 第 91 回 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

[レース車両] MONSTER SPORT E-RUNNER パイクスピークスPECIAL
[ドライバー] 田嶋 伸博
[出場クラス] エレクトリック
[結果] 予選:クラス 3 位 決勝:クラス 1 位(総合 5 位)
決勝タイム 9 分 46 秒 530 エレクトリックディビジョン NEW コースレコード

[2014 年] 第 92 回 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

[レース車両] MONSTER SPORT E-RUNNER パイクスピークスPECIAL
[ドライバー] 田嶋 伸博
[出場クラス] エレクトリック・モディファイド
[結果] 予選:クラス 3 位 決勝:クラス 3 位(総合 4 位)
決勝タイム 9 分 43 秒 900



【チーム公式 WEB サイト、画像等】

■チーム公式 WEB サイト

URL : <http://www.apev.jp/teamapev/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

■パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会

石倉 智之(株式会社タジマモーターコーポレーション) E-mail : pr@tajima-motor.com TEL: 0538-66-0020

田中 郁子(電気自動車普及協会) E-mail : tanaka@apev.jp